

暴力・暴言・ハラスメント・差別等の根絶に向けたロードマップ^o

5月18日(木) 理事会



- 暴力・暴言・ハラスメント・差別等の根絶に向けた取り組みは、JFAの理念・ビジョン・バリューの具現にとって不可欠であり、暴力・暴言等のないサッカー界の実現に向けて、常に取り組み続けなければならない



JFAグラスルーツ宣言



JFA
理念・ビジョン・バリュー



「暴力・暴言・ハラスメント・差別等の根絶に向けたロードマップ」とは

選手・子どもたちがサッカー、スポーツを安心、安全に楽しむ権利とその環境を守るために、
特に、**暴力・暴言・ハラスメント・差別等の根絶**に向けて、JFAが今後取り組むべき施策をまとめたもの



- 暴力・暴言等の根絶に向けた取り組みを強化するため、これまでの、主に指導者を対象とした教育・啓発だけでなく、サッカー界全体で、その根絶に取り組む

これまで

主に指導者を対象とした啓発・教育

- 公認指導者ライセンスの資格取得時の研修（D～S級）
- RSPECT関連啓発活動
- ウェルフェアオフィサーの設置（ジェネラル・マッチ）
- セーフガーディングポリシーの策定
- 暴力等根絶相談窓口の運用

これまでの
活動に加え

これから

指導者だけでなく、
選手・保護者・審判・チーム関係者・
ファン・サポーターも含めた
サッカー界全体での取り組みへ

- **全ての指導者への啓発・教育の徹底：**
JFAのメッセージを、一部の指導者だけでなく、ピッチに立つ**全ての指導者に網羅的に**届ける。
- **周囲の牽制機能の強化：**
指導者だけの問題でなく、選手・保護者・審判・チーム関係者も、**暴力・暴言等への高い感度**を持ち、周囲の目による牽制機能を働かせる。

- **より厳正な対処：**
起きた事案に対するより厳正な対処
(47都道府県サッカー協会 [FA] も含めた懲罰規則・窓口等の運用の強化)

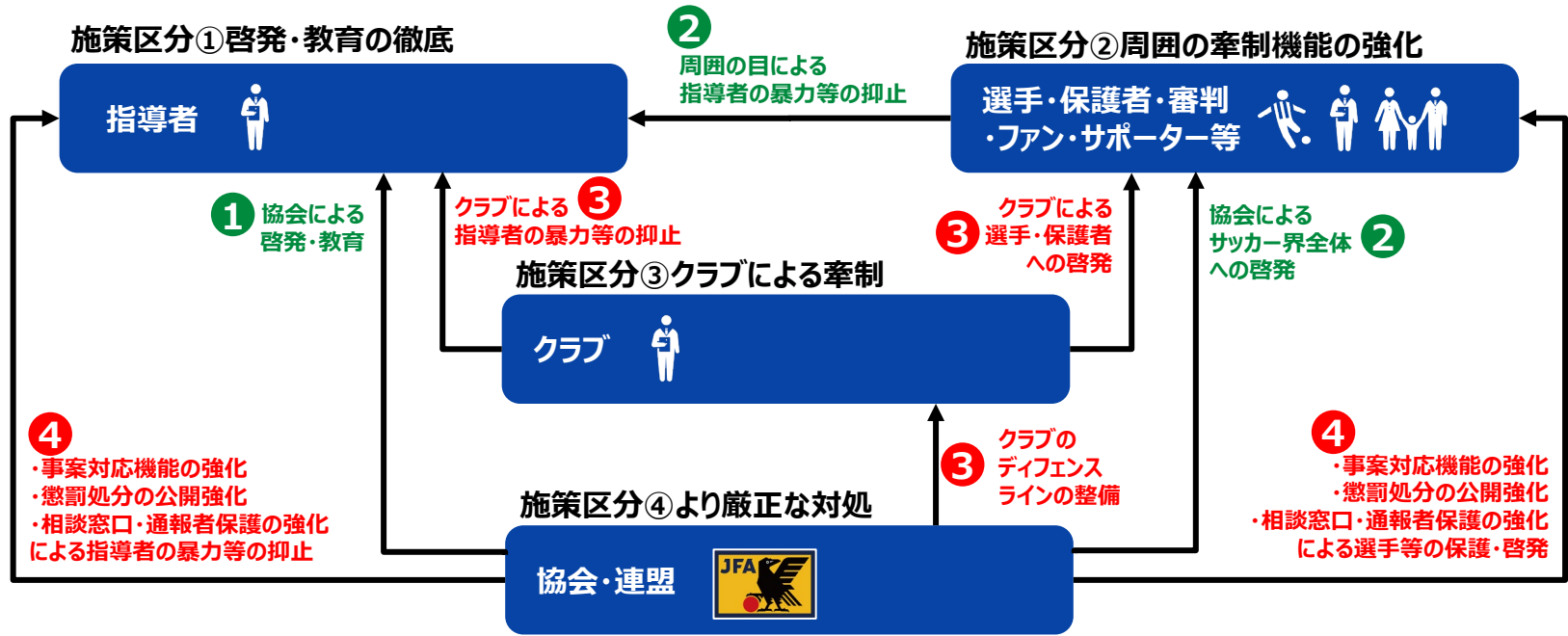
施策区分別の施策相関図



- 指導者への啓発・教育に留まらず、指導者を取り巻く周囲の目（選手・保護者・審判・クラブ）による牽制、懲罰事案へのより厳正な対処・公表により、サッカー界全体で暴力・暴言等を許さない文化をつくる

施策区分別の施策相関図

緑：啓発・教育
赤：制度整備・ガバナンス



施策の全体像

施策区分① 啓発・教育の徹底

指導者

施策区分② 周囲の牽制機能の強化

選手・保護者・審判等

施策区分③ クラブによる牽制

クラブ

施策区分④ より厳正な対処

協会・連盟

啓
発
・
教
育

制
度
整
備
・
ガ
バ
ナ
ン
ス

主たる課題

- ・指導現場で暴力・暴言等が存在している
- ・ライセンスを持たない指導者がいる
- ・指導者全員に教育が行き渡っていない

- ・暴力・暴言等を周囲が許容してしまう
- ・許容せずとも、声を上げない・上げられない
- ・声を上げたとしても、対処法が分からない

- ・クラブによる指導者等への抑止機能が弱い
- ・クラブによる選手等への啓発機能が弱い

- ・懲罰処分の基準・内容が知られていない
- ・47FA中心に事案対応機能が十分でない
- ・窓口・通報者保護が広く知られていない

施策方針

一部の指導者でなく、
全ての指導者を対象に、
継続的な施策を

選手・保護者・審判は、
暴力等を許容せず、牽制
機能をもてるような施策を

クラブが牽制・啓発機能を
持てるような施策を

暴力・暴言等への
より厳正な対処を

主たる施策

- 指導者養成カリキュラム改革
- 講習会・研修会での教育強化
- 指導者ライセンス保有義務化
- 指導者ライセンス制度の改革

- 選手・保護者等への継続的な啓発

- クラブによるディフェンスラインの整備

- 懲罰処分の公表の強化
- 事案対応機能の強化
- 窓口・通報者保護の積極発信



● 一部の指導者でなく、全ての指導者を対象に、継続的な施策を実施する

主な課題・背景

- 部活動からトップレベルまで依然として指導現場で**暴力・暴言が存在**している（認識の上、もしくは認識のない暴力・暴言の両方）
- **指導者ライセンスを持たずに指導**している指導者がいる（指導に関する知識・スキルが不足している）
- コンプライアンスに関する再教育を**全ての指導者ライセンス保有者には実施できていない**（コンプライアンスに対する意識が低い指導者がいる）

目標

短期

- 指導者資格取得の門戸が広がり、全ての指導者がコンプライアンスに関する教育を体系的に受けられるようになっている
- 登録指導者を対象としたコンプライアンスに関する研修会が全国で開催されている

長期

- 全ての育成年代の登録チームにおいて、適切な指導者ライセンスを保有している指導者が指導している
- 全ての登録指導者が定期的にコンプライアンスに関する教育を受けている

施策

無資格者の資格取得促進

資格保有者への再教育

現在の
主な
取り組み

全日本U-12選手権での指導者ライセンス保有義務化

上位ライセンス受講促進
(B級スタンダード計画など)

全日本女子U-15/18選手権での指導者ライセンス保有義務化

ガイドラインの周知・遵守促進
(セーフガーディングワークショップ)

47FAのコース開催数増
(FAコーチ配置など)

リスペクト関連活動
(シンポジウムなど)

今後
さらに

指導者養成カリキュラムの改革

- ① D級の日程短縮(2日→1日) & セーフガーディング中心に
- ② 教員向けC級コースの新設

短期

講習会・研修会での教育強化

- ① 各ライセンスのカリキュラム改定
(コンプライアンス教育の体系化)
- ① リフレッシュ研修会におけるコンプライアンス教育の充実化

短期

指導者ライセンス保有義務化

- ① 特に育成年代のリーグ戦におけるベンチ入り指導者の保有ライセンス条件 (C/D級) を規定

長期

指導者ライセンス制度の改革

- ① ライセンス更新必須研修 (eラーニング等) の導入検討

長期



● 選手・保護者・審判員などが、暴力・暴言等を許容せず、牽制機能をもてるような施策を

主な課題・背景

- 指導者の暴力・暴言等を**周りの大人が許容**してしまう（感度が高くない、見て見ぬふりをする）
- 選手が暴力・暴言を受けた際、それを**受け入れてしまい声を上げられない**（選手が自らに原因があると考えてしまう）
- 選手が暴力・暴言を受けたり、周りの大人がそれを見聞きした際、許容せずとも、**対処する方法（相談先・通報先）が分からず**に声を上げられない

目標

短期

- あらゆるサッカーの現場で通年で啓発メッセージが発信されている
- 暴力・暴言等についてより理解を深めることができる機会やコンテンツが整備されている

中期

- 全ての登録選手（育成年代は保護者含む）・審判員へアプリを通じて直接的に啓発メッセージを届けることができている

施策

現在の
主な
取組み

無関心→関心

リスペクトフェアプレーイデイズ
（各種試合でのリスペクト宣言など）

オウンドメディアでの記事発信
ポスターの掲出

関心→行動

暴力暴言根絶相談窓口の設置・運用

ガイドラインの周知・順守促進
（セーフガーディングワークショップ）

今後
さらに

代表選手・監督による啓発

- メッセージ動画など

短期

試合・大会における啓発

- 代表者会議での映像配信
- スタジアムでの映像配信

短期

クラブの活動における啓発支援

- 保護者説明会等で活用できるツール（映像など）の提供

短期

パートナー企業・他競技との連携

- 世界人権デー等での啓発

短期

JFA Passportアプリを活用した啓発

- 一人ひとりへの定期的・直接的・強制的な啓発映像等の配信

中期

オウンドメディアの情報充実化

- JFA.jp固定ページの情報充実（暴根に関する具体情報掲載・懲罰関連含む）
- 代表監督による啓発記事
- 実体験インタビュー記事

短期

外部メディアとの連携

- 新聞社等とのリスペクトフェアプレーシンポジウム共催

短期



● クラブが牽制・啓発機能を持てるような施策を実施する

主な課題・背景

- クラブによる暴力・暴言等を行う**指導者への抑止機能が弱い**
 (加盟チームに対してコンプライアンスに対する役割を与えていない
 /多くのチームは指導者がクラブの責任者であり、指導者の言動を客観的に評価する立場の人がいない)
- クラブによるコンプライアンスに関する**選手・保護者等への啓発機能が弱い**

目標

短期

- 誰もがクラブウェルフェアオフィサーとして活動できるように学習できるコンテンツが開設されている

長期

- 全てのクラブにJFAが指定する研修を受講した「クラブウェルフェアオフィサー」が配置・登録されている

施策

指導者への言動への抑止

選手・保護者等への啓発

現在の
主な
取組み

クラブウェルフェアオフィサーの養成

ガイドラインの周知・遵守促進
(セーフゲーディングワークショップ)

保護者向けハンドブック
(めざせベストサポーター)

今後
さらに

クラブウェルフェアオフィサー向けeラーニング開設

短期

eラーニングコンテンツを一般に無料公開し、クラブ関係者や指導者への受講を推進する(任意・資格認定はしない)

クラブウェルフェアオフィサーの全クラブへの配置

中期

KICKOFF再構築に合わせて、全ての加盟クラブに「クラブウェルフェアオフィサー」の登録を義務付ける(クラブ関係者であれば誰でも登録可能)

クラブウェルフェアオフィサーの研修受講義務化

長期

全ての加盟クラブに登録された「クラブウェルフェアオフィサー」に研修(eラーニング)受講を義務付ける



● 暴力・暴言等へのより厳正な対処を

主な課題・背景

- 指導者が**どのような事案でどういう懲罰処分を受けるか知られていない**（47FA裁定案件はほぼ公表されておらず、JFAの公表内容は概要のみ）
- 47FAを中心に**事案発生時の対応機能が十分でない**（人的リソース不足、情報・ノウハウ不足）
- 暴力根絶相談窓口や通報者保護が**広く認知されていない**

目標

短期

- 公表内容に関する規定を整備し、サッカーの現場における全国全ての裁定案件の詳細を公表している

中期

- 懲罰処分の判例集を作成し、事案対応機能の強化に資する情報共有・研修を実施している

長期

- JFAおよび47FAの窓口体制・事案対応機能の充実化に向けた方向性が決定している

施策

1. 懲罰処分の公表

- ① **公表する懲罰処分の範囲拡充**
 - 47FA裁定案件を含めて全ての事案を公表する
- ② **公表内容の詳細化**
 - 公表規定を策定して全国共通の基準で詳細を公表する
- ③ **懲罰処分の年度統計資料の公表**
 - 上記①②を集計して公表する

短期

短期

短期

2. 事案対応機能の強化

- ① **裁定案件の懲罰処分の判例集の展開**
 - 1-①で蓄積した情報をまとめて懲罰ガイドラインとして47FAへ共有する
- ② **司法機関運用に関する情報共有の充実化**
 - 定期開催している研修会にて2-①の共有等を行う
- ③ **47FA事案対応支援**
 - 各FAの事案対応体制の充実化に向けて継続協議する

中期

中期

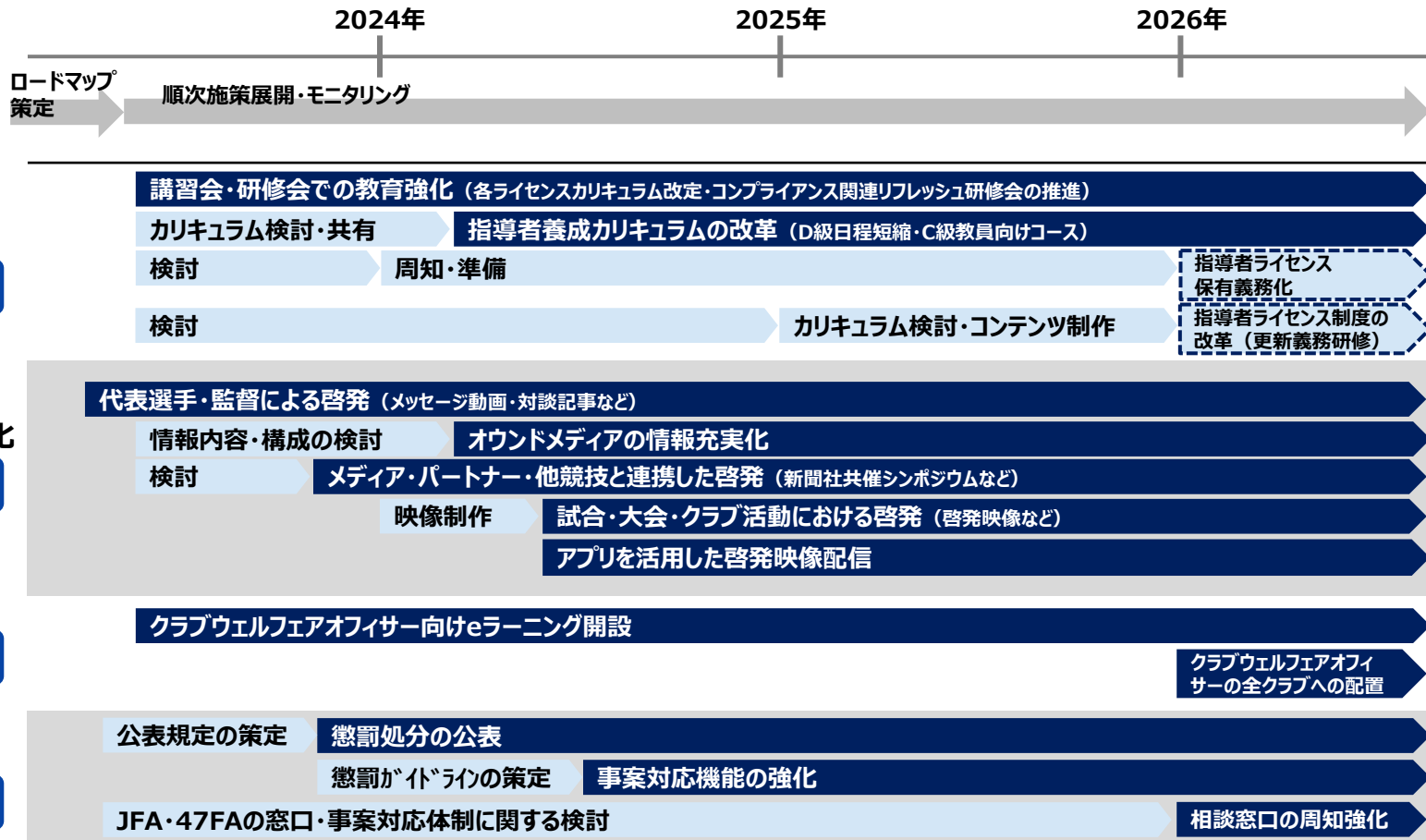
長期

3. 相談窓口と通報者保護

- ① **相談窓口と内部通報者保護の周知強化**
 - コンプライアンスを統括する部署の新設などに向けて継続して協議する

長期

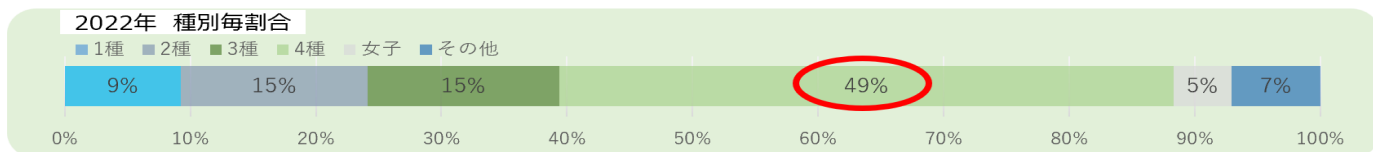
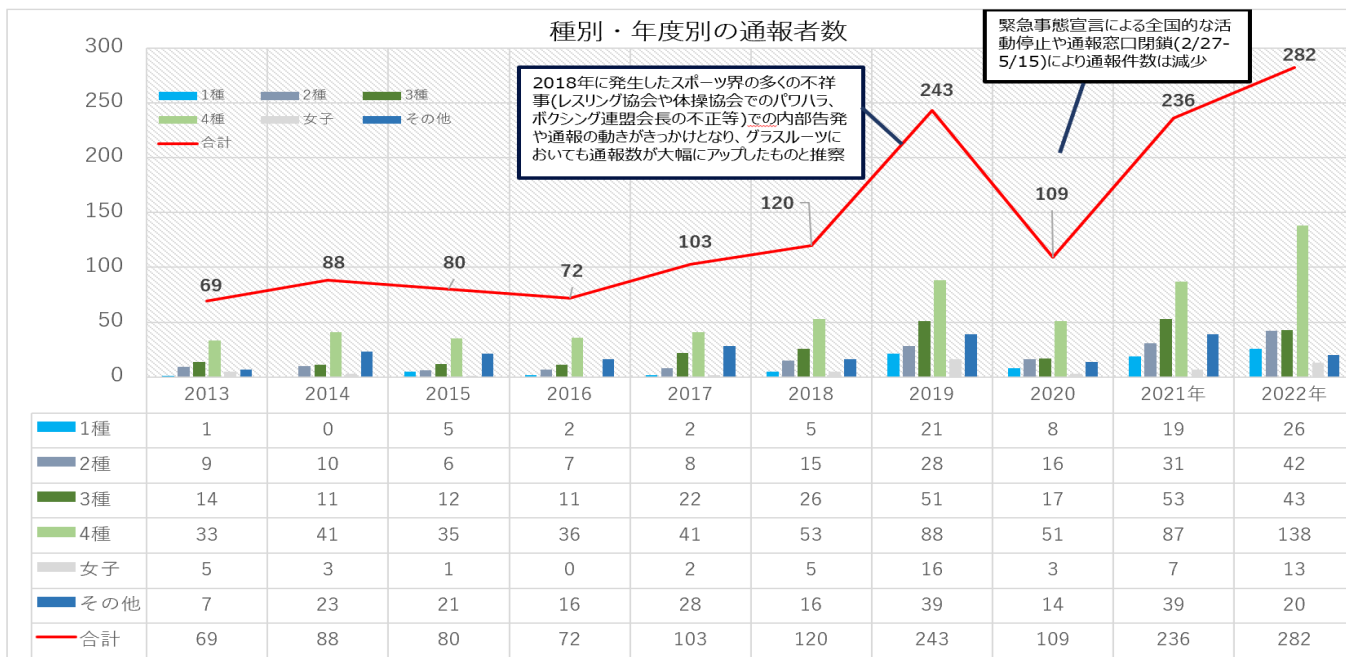
スケジュール



JFAの関連委員会による連絡協議会(仮)を設置する
(本ロードマップに関連する情報共有・協議・施策モニタリングを行う)

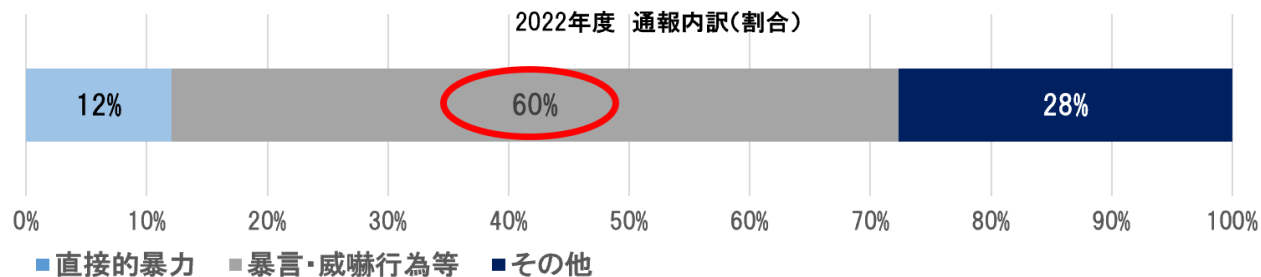
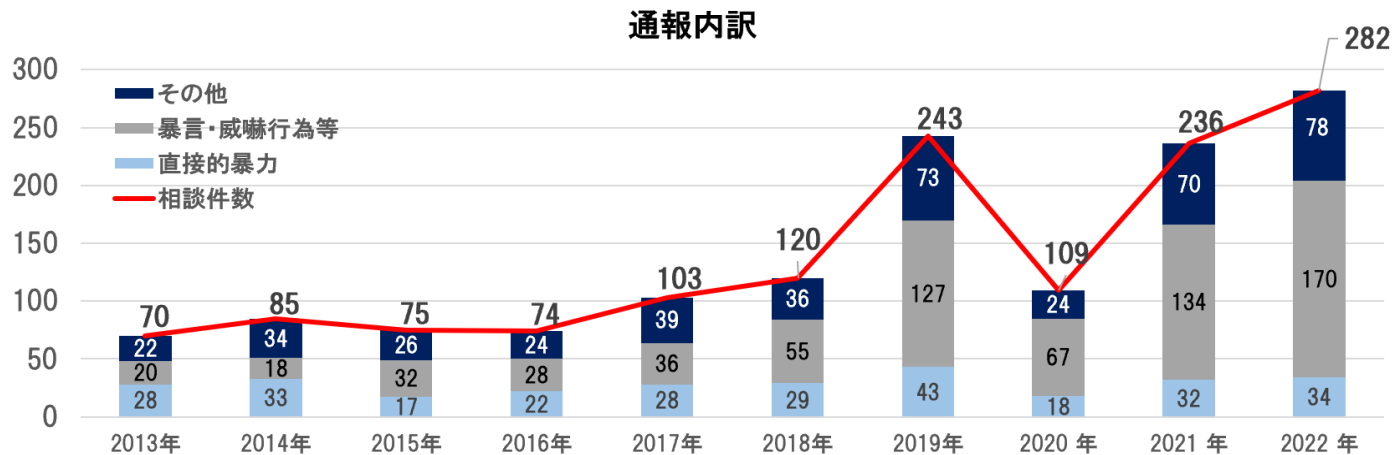
**各団体（47FA・関連団体・クラブ等）が
暴力・暴言等の根絶に向けた取り組みを実行できるガバナンスを示す**

《参考》JFA暴力等根絶相談窓口／相談件数推移①



※「その他」に含まれる主なケース：JリーグやWEリーグのクラブ（ユースチーム、ジュニアユースチーム等を含む）における事案等

《参考》JFA暴力等根絶相談窓口／相談件数推移②



※「その他」に含まれる主なケース：保護者と指導者間のトラブル・クレーム（選手起用、男女関係など）、匿名かつチーム名等の情報もない



Thank you.